

### 米国における擬似持株会社の設置について

株式会社三菱東京UFJ銀行（頭取 <sup>ながやす</sup> 永易 <sup>かつのり</sup> 克典）は、米国事業の更なる拡大・強化、そして拡大する米国事業に見合った経営管理体制の確立を目的として、本年7月1日に米国で擬似持株会社（米国BTMUホールディングス）を設置し、米州総代表（米国シングルCEO）を中心としたガバナンス体制を構築することを決定しました。今後は、当行の米州本部と100%子会社のユニオンバンクを通じて展開している米国事業において、擬似持株会社方式（注）で一元的な経営管理を行います。

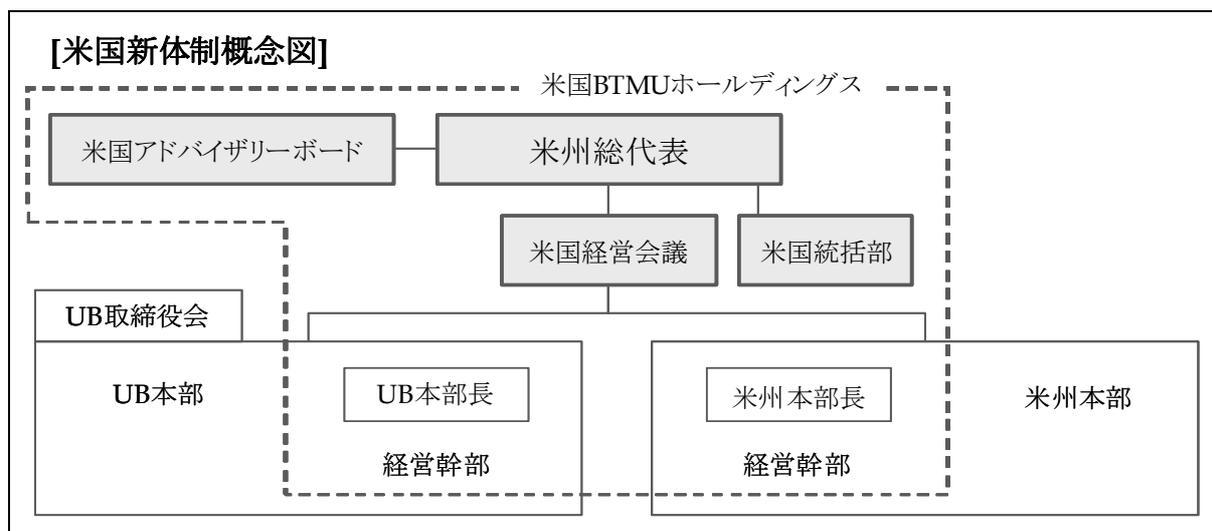
#### 1. 狙いと背景

当行にとって米国は最も重要な市場の一つです。そのため当行は2008年にユニオンバンクの完全子会社化を行い、リテールからホールセールに亘る米国事業の強化を図る他、米国経営会議の設置を行い、当行の米州本部とユニオンバンクの事業の一体的経営管理を強化してきた経緯にあります。

しかしながら金融危機の発生とその教訓、Dodd Frank 法等の金融規制の強化、グローバルな競争環境の変化等、当行の米国事業を取り巻く環境が大きく変化していることから、米国事業の更なる拡大・強化のためには、当行の米州本部とユニオンバンクの事業の一体的経営管理をもう一段階進める必要があると判断し、今般、新しいガバナンス体制の構築を決定しました。

#### 2. 新たな米国ガバナンス体制について

新しい米国ガバナンス体制は以下で構成されます。



注： 独自の法人格はもたず、資本金を投下することは無いという意味で、「擬似」であり、パブリックホールディングカンパニーとも称されます。法人格を有するため求められる煩雑な手続きを省略する一方、法人格の持株会社が有する機能を備えた先進的な経営管理手法です。

- (1) 米州本部とユニオンバンクの業務を所管する役員を「米州総代表」として置きます。
- (2) 社外有識者等で構成する諮問委員会として「米国アドバイザーボード」を設置します。  
社外の独立したプロフェッショナルな助言を米国事業の経営管理に反映させ、米国業務全体に係わる経営課題の解決、最適化を図ってまいります。
- (3) 米州総代表のスタッフ部として「米国統括部」を設置します。
- (4) 米州総代表、米州本部、ユニオンバンク等の幹部で構成する会議体として「米国経営会議」を設置します。米国経営会議では米国業務全体に係わる経営課題を協議します。

### 3. 米国アドバイザーボードのメンバーについて

米国アドバイザーボードのメンバーには、社外より金融規制、法務、金融、ガバナンス等に深い見識を有する専門家、学識経験者をメンバーに迎えます。非常に高度な専門性を備える、経験豊富な社外有識者からの独立した立場でのプロフェッショナルとしてのアドバイスを、当行の米国事業に役立ててまいります。

以上